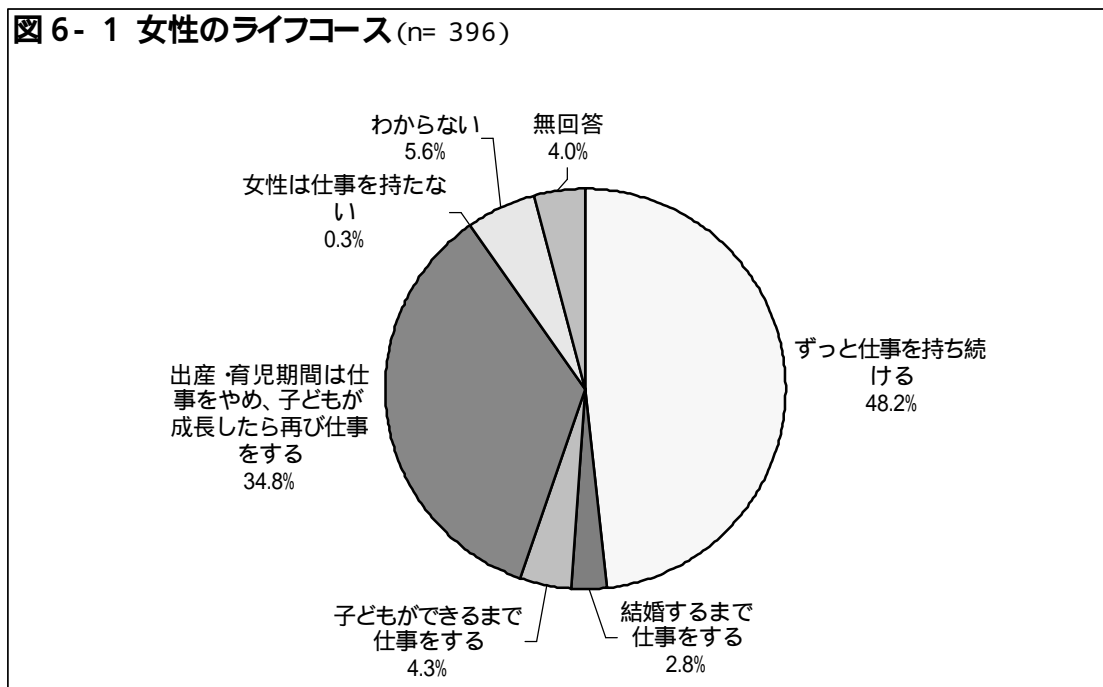


## 【6.望ましい女性の一生の働き方について】

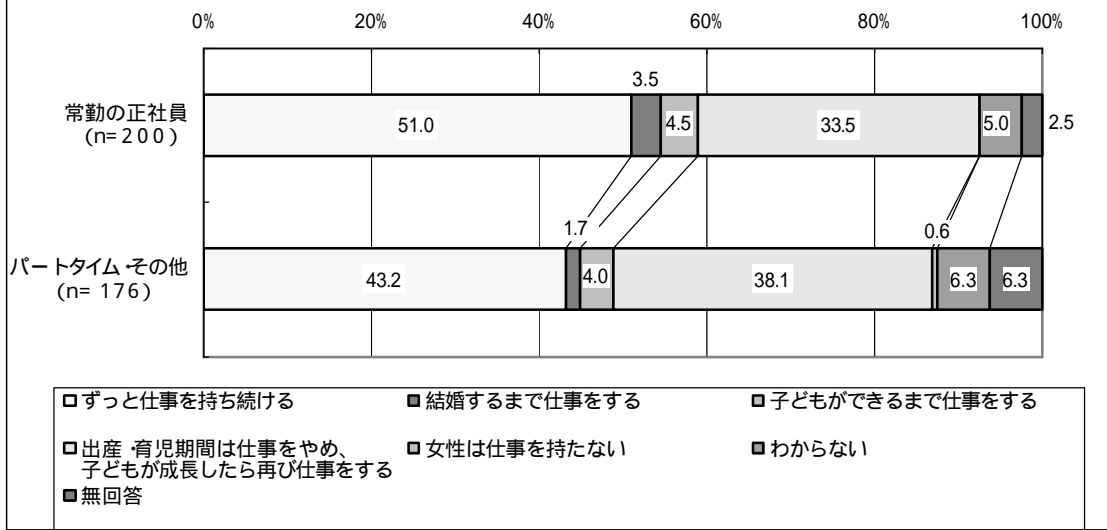
問6 女性のライフコースとして、あなたの考えは次のどれにもっとも近いですか（1つ回答）  
（n=396）



女性のライフコースとしての考えかたに関してたずねたところ（図6-1）、「ずっと仕事を続ける」が48.2%で最も多くほぼ半数を占めています。次に、「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び仕事をする」が34.8%と続き、「子どもができるまで仕事をする」（4.3%）、「結婚するまで仕事をする」（2.8%）、「女性は仕事をもちない」（0.3%）の3つを大きく上回り、就労への意欲が高くなっている傾向がうかがえます。

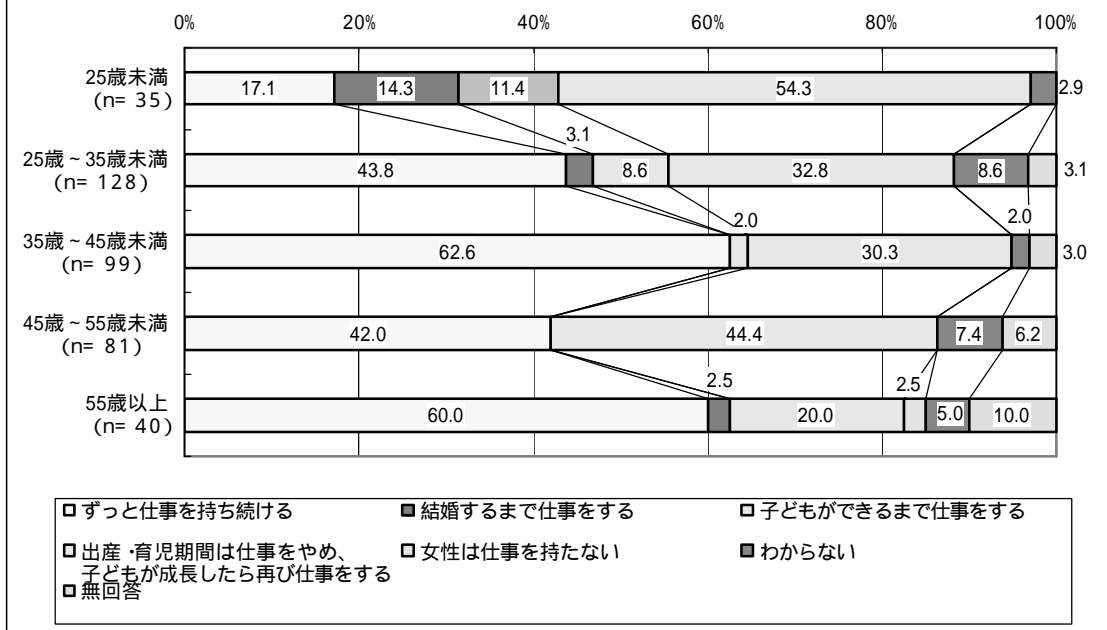
問12の「働く女性として感じていることや要望」に、「今の仕事をしながら子育てをすることは難しいと思っています。もし、子どもができたら、会社を辞めると思います」とあるように、「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び仕事をする」「子どもができるまで仕事をする」というなかに、仕事を継続できずにやむを得ず辞めなくてはならない状況があることがうかがえます。一方では、「経済的、その他の条件が許すならば子育ては自分で行なってほしい」「病後児保育や延長保育、大人の都合ばかりを考えていますが」との意見もあります。子育てと仕事の両立の難しさがうかがえます。

図 6 - 2 女性のライフコース (就業形態別)



「正社員」「パートタイム・その他」の就労形態別でみると(図6-2)ともに、「ずっと仕事を続ける」が最も多い回答になっています。「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び仕事をする」は正社員で33.5%、「パートタイム・その他」で38.1%を占めています。

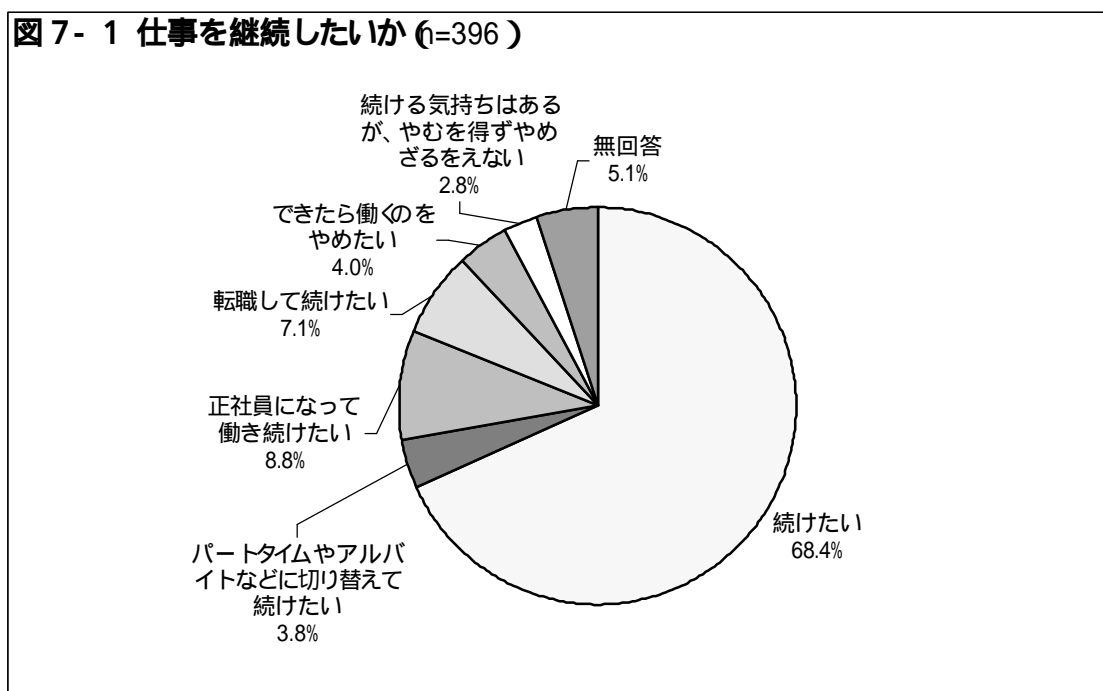
図 6 - 3 女性のライフコース (年代別)



年代別でみると(図6-3)25歳未満は「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び仕事をする」が54.3%を占め最も多く、また、「ずっと仕事を続ける」(17.1%)「結婚するまで仕事をする」(14.3%)「子どもができるまで仕事をする」(11.4%)と回答が分散しています。それに対して、25歳～35歳未満、35歳～45歳未満、55歳以上では「ずっと仕事を続ける」が「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び仕事をする」を上回っています。45歳～55歳未満はこの2つの選択肢がほぼ拮抗しているのが特徴です。

## 【7.今後の働き方の方向性について】

問7 あなたは、現在の働き方を今後も続けていきたいですか（1つ回答）（n=396）



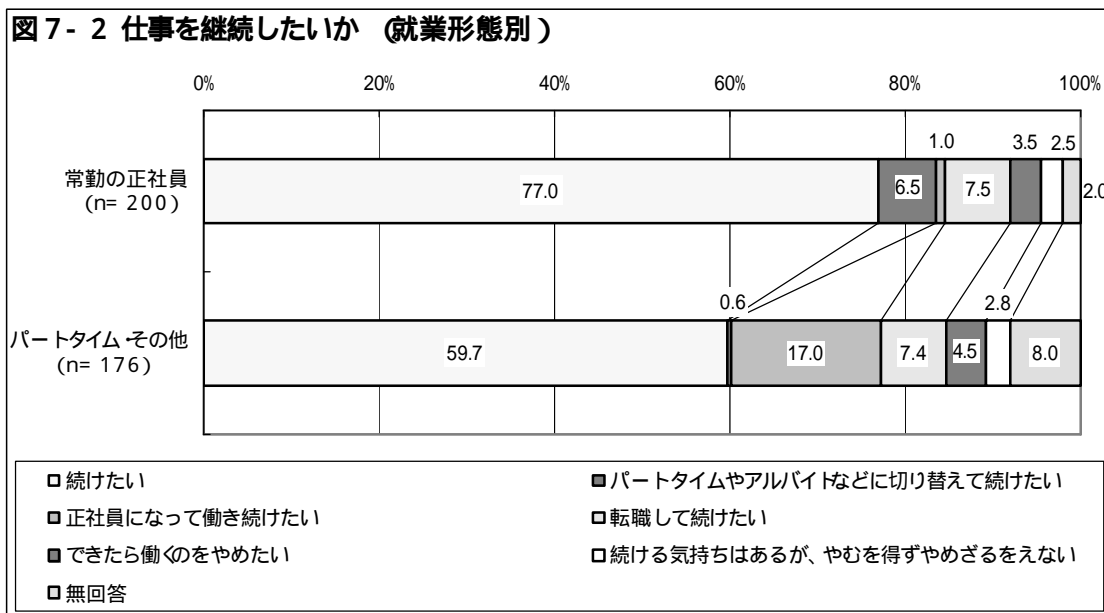
### < 辞めたい理由 >

定年迄を区切りとしている / 定年をすぎ会社がもう良いというところで辞めたい 生計維持のために働きたくない / 生活費に余裕があれば家にいたい / 生活費が楽であれば / 生活の中で自由な時間が欲しい / 社会が不況の為どんなに働いてもおいつかない / 私は母子家庭で23年間頑張り3人の子どもの成人し娘は2人結婚しました 孫も出来たので孫の面倒もみてやりたいが経済的に働かざるをえない / 子どもに専念したい / 現状では子どもに負担がすごくかかっている為 / 健康上の理由及び介護に備えて / パートやアルバイトに切り替えて、自分の時間が欲しいです (転職も含む) / そろそろ楽をしたい

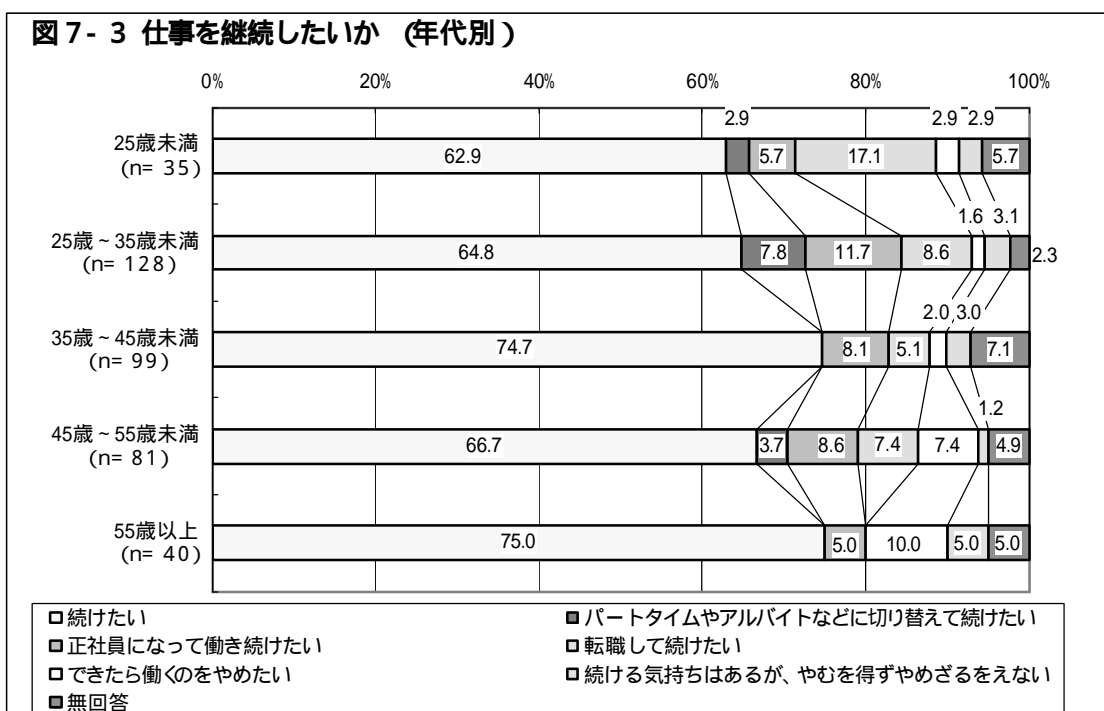
### < 辞めざるを得ない理由 >

両親の介護 / 母が九州で一人暮らし / 定年制 / 定年がくるから / 通勤時間がかかりすぎるので / 生活維持の為 / 人間関係 / 親の介護があるかもしれない / 出産や育児期間を考えると不安 / 出産するとなると続けるのが難しい / 出産

現在の働き方を今後も続けていきたいかについてたずねたところ（図7-1）、「続けたい」が68.4%で最も多く7割近くを占めています。これは、問3の「仕事や職場に関する満足度」への回答が「まあ満足」と「非常に満足」をあわせると60%を超えていることが反映されているものと見受けられます。次いで、「正社員になって働きたい」が8.8%、「転職して続けたい」が7.1%、「できたら働くのをやめたい」が4.0%、パートタイムやアルバイトなどに切り替えて働きたいが3.8%、「続ける気持ちはあるが、やむを得ずやめざるをえない」が2.8%となっています。やむを得ずやめざるを得ない理由としては、出産や介護が上げられています。これは、問12の「働く女性として感じていることや要望」に、「今の働き方では、子どもを産み育てることは不可能」「介護をしながら現在の仕事を続けていけるか不安」とあります。また、「女が働くことはまだまだ乗り越えていかなければならない課題が多くあるのではと思います」とあるように、女性が働き続けるためには、出産・育児・介護等、さまざまな問題が大きいことがうかがえます。



「正社員」「パートタイム・その他」の就労形態別でみると(図7-2)ともに、「続けたい」が最も多い回答になっています。しかし、正社員の方が多く、「パートタイム・その他」との差は17ポイントあります。また、「パートタイム・その他」では、「正社員になって働き続けたい」が17.0%あり、問12の「働く女性として感じていることや要望」にも「年齢制限の為、正社員になれない」とあるように、正社員への転換希望がみられます。



年代別でみると(図7-3)すべての年代において「続けたい」が最も多く6割以上を占めています。また2位は、25歳未満では「転職して続けたい」(17.1%)、25歳～35歳未満では「正社員になって働き続けたい」(11.7%)となっています。